

『ZEH情報 かわら版』

ZEH支援事業 調査発表会2016が開催。(その4)

今回は説明会第3部「ZEHビルダー支援事業(事業者アンケート集計の分析と実績報告)」でのトピックスをお伝えします。

下記グラフは全てSII（一般社団法人 環境共創イニシアチブ）公開情報から抜粋したものです。

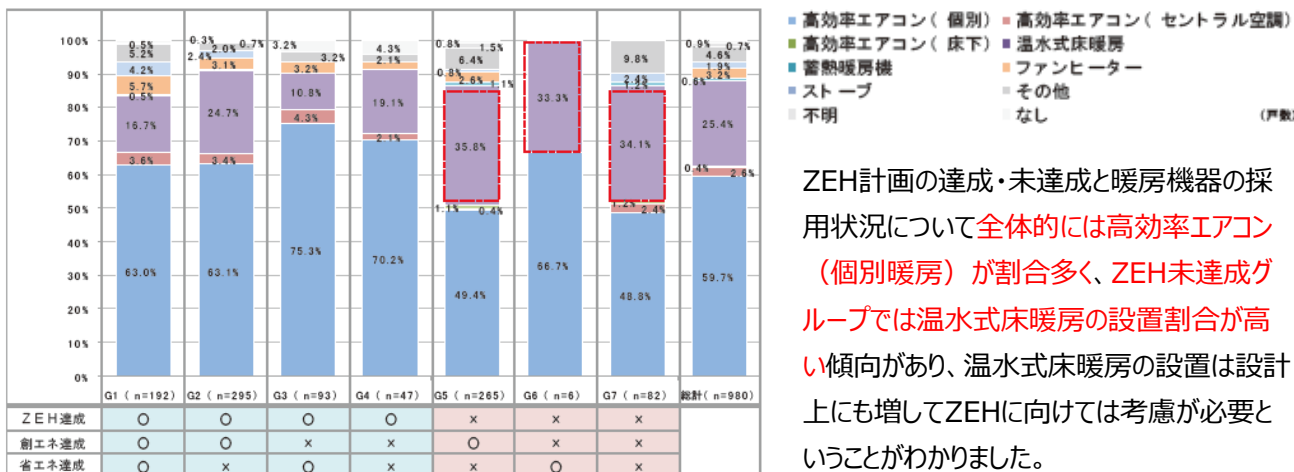
■ 物件の設計時の計画達成実績

n数=980

物件数	比率	省エネ計画	創エネ計画	ZEH計画
192	19.6%	達成	達成	達成
295	30.1%	未達成	達成	達成
93	9.5%	達成	未達成	達成
47	4.8%	未達成	未達成	達成
265	27.0%	未達成	達成	未達成
6	0.6%	達成	未達成	未達成
82	8.4%	未達成	未達成	未達成
<b>達成</b>		<b>29.7%</b>	<b>76.7%</b>	<b>64.0%</b>
<b>未達成</b>		<b>70.3%</b>	<b>23.3%</b>	<b>36.0%</b>

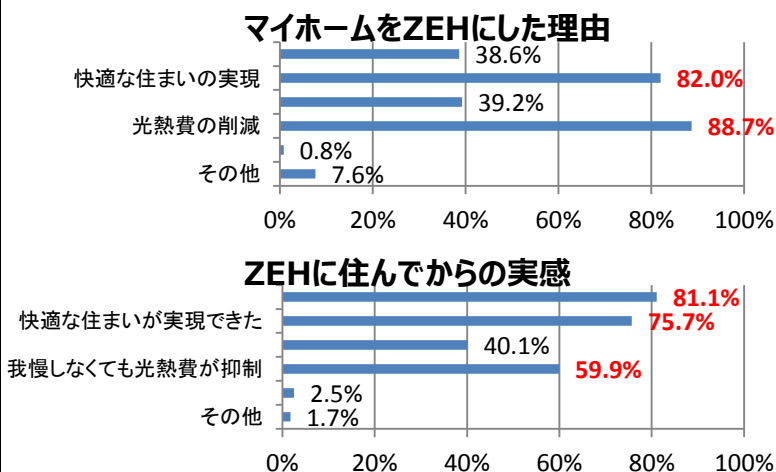
補助金を受けた物件について設計時の計画と居住してからの実績を比較し、ZEHの計画達成している物件は64%、内訳として省エネに関する達成率が約30%と低いことがわかった。省エネ計画は家族構成や住まい方の影響が大きくこれらが達成率低い要因と考えられます。創エネは天候要因が主の為、達成率が高くなっています。

■ 暖房設備機器の採用状況



ZEH計画の達成・未達成と暖房機器の採用状況について全体的には高効率エアコン（個別暖房）が割合多く、ZEH未達成グループでは温水式床暖房の設置割合が高い傾向があり、温水式床暖房の設置は設計上にも増してZEHに向けては考慮が必要ということがわかりました。

■ 居住者の意識(H26年事業者：入居1～2年以内)



ZEHにした理由のトップは光熱費の削減で、実感としては約6割が我慢しなくても光熱費が抑制できていると感じている。2番目に多い理由は快適性で、7～8割の方が実感としても夏の涼しさや快適な住まいが実現できると感じている。グラフにはありませんが、ZEHに3年間住んだ方へZEHおすすめポイントを確認するとトップは「光熱費の安さ」が約7割、「省エネ効果」「快適性」といった項目を約5割の方が選んでいます。

SII公開資料のダウンロードはこちらから ⇒ [https://sii.or.jp/zeh28/file/doc\\_1122.pdf](https://sii.or.jp/zeh28/file/doc_1122.pdf)

**緊急!! 補正予算ZEH補助金 第2次公募が始まりました。**

12月12日(月)より第2次公募の受付がはじまりました。予算額は1次公募と同じく30億円分です。締切日はH29年1月13日(金)17時必着で、交付決定はH29年2月下旬予定です。ZEHビルダー登録をお済でない方は12月20日までにZEHビルダー申請すれば1月6日に登録され、2次公募の申請に間に合いますので、まずはZEHビルダー登録をしてみましょう。